

會議議事録

事業名	令和6年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (2)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第 2 回教職員研修実施委員会
開催日時	令和 6 年 7 月 25 日（木）13:00～15:00
場所	オンライン
出席者	事業責任者：岡村 慎一 計 1 名 委員：泉田 優、猪俣 昇、八木 信幸、及川 源太、 佐藤 善邦、松田 義弘、島田 勝彰、山口 昌一 藤井 貴志、岩村 聡志、足立 隆 計 11 名 請負業者：飯塚 正成 計 1 名 <u>合計 13 名</u>
議題等	○FD・SD セミナーのテーマについて ・カリキュラムマネジメントが必要だと感じる。また、職員歴が長い者に対して法的な部分を行うこともいいのではないかと。島田 ・学科マネジメント力向上が良いと考える。カリキュラムマネジメントも良いと感じている。藤井 ・到達度の確認、いわゆるテスト等の設計が良いと考える。八木 ・教員のチームマネジメントが問と考える。SD は今後の需要予測等が良いと思う。松田 ・教育課程編成と学科マネジメントが良いと思う。指導力なども良いと思う。SD は法令関係が良いと思う。岩村 ・退学予防が良い。学生が多様化しているのでこの対応ということである。SD は私学法改正や生成 AI 等の取り扱いが良いと思う。足立 ・FD は評価の仕方や評価基準が良いと思う。あと就職指導についても良いと考える。SD は職員の退職等が良いと思う。その他コンプライアンスやハラスメント等が良いと思う。及川 ・FD は、カリキュラム設計やカリキュラム評価が良いと思う。SD は、多様な学生に対する対応力等がよいと感じる。山口 ・FD は、カリキュラム作成。中でも実務教育の設計部分は重要と考える。企業との連携力なども良いと思う。研修の実施方法として誰にいくらで頼み、、、等も重要と考える。SD は法令理解と手続きについて考えると良いと思う。コンプライアンスやリスクマネジメントも

	っておくことも重要だ。佐藤 ・FD は教育力向上と学生対応が多かった。SD は法令関係やコンプライアンスの需要が高かった。泉田 ・TCE 財団が学級経営・学生対応は満員。指導力、インストラクショナルデザインも満員であり研修ニーズは増している。他事業との連携形態も考える必要がある。ID の受講者に対して効果測定をしたいと三菱総研から依頼があった。法令に関しては、今後対応が重要だろうと考える。文科省と三菱総研を呼んで話を進めて行きたい。コンプライアンスも重要である。岡村 ・教育課程編成、学級マネジメント、評価の在り方で統一したい。FD は、法令関係、コンプライアンス、リスクマネジメント等で統一したい。講師・やり方は、植上さん、ウイネット等でしょうか。泉田 ・全専研の研修とのダブリがないか確認が必要。岡村 ・今の計画上のダブリはない。八木 ・文科省は、私学法等について、ブロック会議で説明する。ただ、現状は、言える範囲が限定される。遅めにやった方がコメントしやすいと考える。三菱総研も同様である。学校ガイドラインについては 10 月後半から話ができると思う。岡村 ・データサイエンスや生成 AI、休退学防止、学習評価、ICT 活用、ID 等を全専研では、実施すると考えている。八木 ・入門、基礎、応用と書いてあったと思うが、統計学ではなくその評価のプロセス等ができる。学びと成長の仕組み研究所というのがあるがこの内容はカリキュラムマネジメントにとって良い気がする。他は、小中校を対象としたもののカスタマイズバージョンである。あとはベネッセあたりが良いと思う。岡村 ・ウイネットの伊藤社長はどうか。泉田 ・FD の担当から講師に連絡をとり、好事例を引き出してもらう形にしたいと思う。泉田 ・FD は、講演＋事例＋ワークという形だと思うが SD も同様か。及川 ・各チームにてやり方も話してほしい。泉田 ・コンテンツを増やすのか、2 日間にかけて同一テーマを話すのか？及川 ・分けた方が良いと考える。泉田 ・1 泊 2 日にしたのは、大きなテーマを検討すると考えていた。テーマを変えると受講者が違っている可能性がある。岡村 ・協会が実施するものは、テーマ 1 つが良いと考える。八木 ・テーマは 1 つが良いと思う。及川 ・1 つのテーマが良いと思う。足立 ・どちらともいえない。松田
--	---

	・研修なら深掘り、セミナーだと紹介レベル。岩村 ・担当を決めた後に、担当がミーティングを開いて話し合ってもらいたい。泉田 ・SD の講師候補はどのような方がいるのか、八木さんと岡村さんからお話を伺いたい。 ・思いつかない。八木 ・産業カウンセラー協会はどうか？岡村 ・SD は範囲が広い。テーマを絞るべき。旧退学や学生の多様化等はテーマだと考えている。及川 ・文部科学省の謝金が見合うかもポイントもある。三菱総研に基調講演をしてもらって、八木さん等にワークを担当する方法等も考えると良いと思う。岡村 ・法令、コンプラ、リスクマネジメントのうち何かに絞る必要がある。リスクマネジメントは重要だと個人的には考えている。及川 ・法令改正は、わかりやすい。山口 ・リスクマネジメントはテーマが重い、私学法が適当だと考えるが、そのあたりのスケジュールがハッキリしないといけない。佐藤 ・文科省からは、ぜひ紹介してほしいという要望がある。三菱総研も同様と考える。学校評価ガイドラインが 10 月末ということを考えるのとそれ以降の話になる。岡村 ・受講者に対して私学法を理解していただく必要があるのか？疑問である。及川 ・ニーズがどれくらいあるのかがよくわからない。松田 ・法令改正については、具体的な話ができないようであれば、リスクマネジメントの中で紹介することが良い気がする。藤井 ・そのような方法で良いと思う。及川 ・ワーキングを設置して、話し合ってもらうことにします。 ○日程 FD : 10 月 31 日 11 月 1 日 東京 11 月 28 ・ 29 日 福岡 SD : 12 月 19 ・ 20 日 東京 1 月 15 ・ 16 日 福岡 ○次回日程 ・ 8 月 9 日に委員長、副委員長、岡村、八木にてハドルミーティング ・ 8 月 26、27、29 日で第 3 回調整
配布資料	